

令和元年度 事業報告書

令和元年度の発酵乳・乳酸菌飲料市場は、国民の健康志向に支えられ堅調に推移した。一方、消費者の食品安全、食品表示への関心はさらに高まった。食品安全関係では、HACCPの制度化を柱とした改正食品衛生法に基づく政省令が順次公表された。また食品表示については、令和2年4月に適用される栄養成分表示の義務化を中心とした新しい食品表示基準への対応が急がれるなど業界を取り巻く環境は大きく変化した。

これらの状況の下、本協会は、①食品安全の推進 ②経営及び流通の合理化 ③乳酸菌情報の積極的な発信を重点課題として事業を実施した。

1. 衛生及び品質の向上に関する事業

(1) 行政情報の収集・提供及び業界意見の提出

- ア. 発酵乳・乳酸菌飲料の衛生・品質及び表示に関する行政情報を収集、又は行政からの依頼を受け、会員に提供した。
(電子媒体61件、郵送2件)
- イ. パブリックコメント募集案件に関する会員への情報提供は9件、協会として、意見提出は4件であった。
- ウ. 本年4月から適用される新しい表示基準に関する情報提供として、会員への注意喚起文書の発出、乳酸菌ニュース及びホームページへの掲載、また食品表示セミナー等の機会をとらえて、速やかな対応を促した。
- エ. 香料等に含まれる酪酸が「毒物及び劇物取締法」上の劇物に指定される動きに対応して、関係団体と連携して風評被害の発生等の懸念を厚労省に伝えた。とりあえず令和元年度の指定は見送りとなった。

(2) 食品表示セミナーの開催

新しい食品表示制度への対応及び虚偽誇大表示の防止に関する情報提供を目的として、消費者庁担当官による行政セミナーを東京と大阪で実施した。

ア. 日時・場所・参加者数

(ア) 東京会場：令和元年7月 5日 グランドヒル市ヶ谷 79名

(イ) 大阪会場：令和元年7月10日 メルパルク大阪 38名

イ. 演題

ー 食品の表示について

講師：東京会場 食品表示企画課 大川 佳子 技官

：大阪会場 食品表示企画課 高橋 亨 課長補佐

ー 食品表示行政の最近の動向について

講師：東京・大阪会場 表示対策課 田中 誠 課長補佐

(3) 生産技術・衛生講習会の開催

製造現場担当者を対象として、HACCPに沿った衛生管理に関する知識の習得を目的とした講習会を実施した。

ア. プログラム

(ア) HACCP衛生管理と手引書について

(イ) 発酵乳・乳酸菌飲料の衛生微生物管理について

(ウ) 衛生管理計画について

イ. 開催場所：盛岡、東京、大阪及び福岡

ウ. 開催時期：令和元年10月～11月

エ. 参加者数：125名

(4) 微生物検査研修会の開催

品質管理・検査担当者を対象として、発酵乳・乳酸菌飲料関連の微生物に関する知識の強化及び検査技術の向上を目的とした2日間の研修会を開催した。

ア. プログラム

ー 講義

発酵乳・乳酸菌飲料における微生物学の基礎と検査方法

ー 実習

(ア) 大腸菌群・乳酸菌数・ビフィズス菌 培養・プレート観察

(イ) 一般細菌数 プレート観察・カウント・計算

イ. 開催場所：(公財)日本乳業技術協会及び(一財)日本食品検査関西事業所

ウ. 開催時期：令和2年1月～2月

エ. 参加者数：33名

2. 製造技術・製造施設の改善及び経営・流通の合理化に関する事業

会員企業、賛助会員である食品機械・素材メーカー及び流通大手企業を訪問し、取材記事を「乳酸菌ニュース」に掲載した。

- (1) 会員企業における経営理念、事業展開、今後の戦略等
協力企業：(株)おおのミルク工房、蒜山酪農農業協同組合、
広島森永乳業(株)、球磨酪農農業協同組合
- (2) 当協会賛助会員である食品機械・素材メーカーにおける最新の食品製造技術等
協力企業：日本製紙(株)、四国化工機(株)、伊那食品工業(株)
- (3) 流通大手における発酵乳・乳酸菌飲料の売れ筋、今後の販売戦略等
協力企業：(株)明治屋、(株)オオゼキ、(株)スーパーアルプス、
(株)ヨークマート

3. 知識の普及・消費の増進に関する事業

発酵乳・乳酸菌飲料の保健機能、安全性等に関する情報を機関誌「乳酸菌ニュース」、「はつらつファミリー」及び協会ホームページを活用して発信した。

(1) 「乳酸菌ニュース」

ア. 主な内容

(ア) 学術情報

腸内フローラと健康

(伊藤喜久治 前東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授)

(イ) 行政情報

- － 感染症の発生動向とその対策 (厚生労働省)
- － EU加盟国向け乳製品の輸出について (農林水産省)
- － 食品表示法に基づく食品表示制度について (消費者庁)
- － 「年頭挨拶」 (関係省庁課長)

(ウ) 健康情報

- － 「子どもの味覚を育てる食育」
(とけいじ千絵 フードアナリスト)
- － 「疲労回復に役立つ栄養、食事」
(渡辺恭良 (国研)理化学研究所プログラムディレクター)
- － 「高齢者の「食べる力」を維持する方法」
(川口美喜子 大妻女子大学 家政学部 教授)
- － 「災害被災時における栄養・食生活」
(笠岡宣代 (国研)医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・
栄養研究所 室長)

(エ) 統計情報

発酵乳・乳酸菌飲料の生産量(農林水産省調査等)及び
都市別1世帯当たりの支出金額(総務省家計調査)

(オ) その他関連書籍、新聞雑誌での掲載記事等

- イ. 発刊頻度/部数:年4回/各1,200部
- ウ. 配布先:会員、関係行政機関、消費者団体、栄養士会、消費生活センター、都道府県図書館等

(2) 「はつらつファミリー」

一般消費者向けの健康情報の発信を目的とした冊子

ア. 主な内容

- － 「生活習慣病の予防」に関すること
- － 「腸内細菌叢と健康」に関すること
- － 「児童及び高齢者の生活改善」に関すること
- － 「乳酸菌の基礎知識」に関すること

イ. 発刊頻度/部数:年3回/各10,000部

ウ. 配布先:会員、関係行政機関、消費者団体、栄養士会、消費生活センター、食生活改善推進員団体連絡協議会等

(3) 「協会ホームページ」

ア. 主なコンテンツ(見出し)

- － 発酵乳・乳酸菌飲料について
- － 食生活と健康情報
- － 協会・協議会について
- － 会員向けサイト

イ. 見出しと内容の刷新

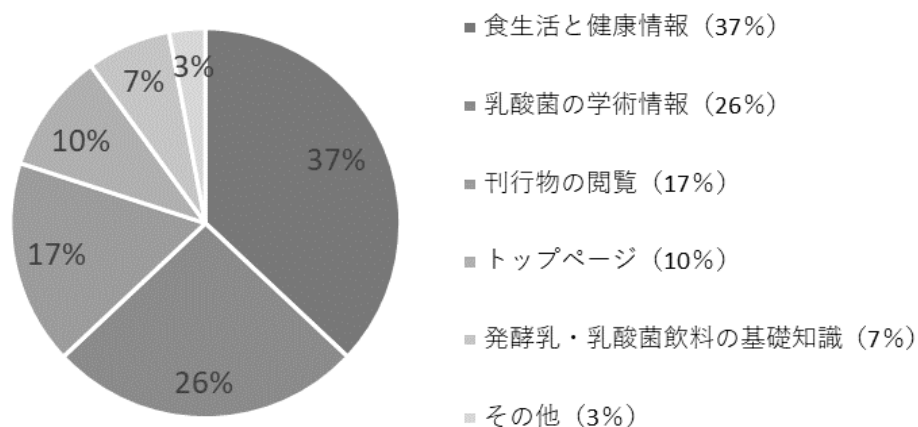
- 暗号化によるセキュリティを強化した
- 携帯端末（スマホ、タブレット）からのアクセスを可能とした
- セミナー及び講習会の申し込みを可能とした

ウ. ホームページ利用状況

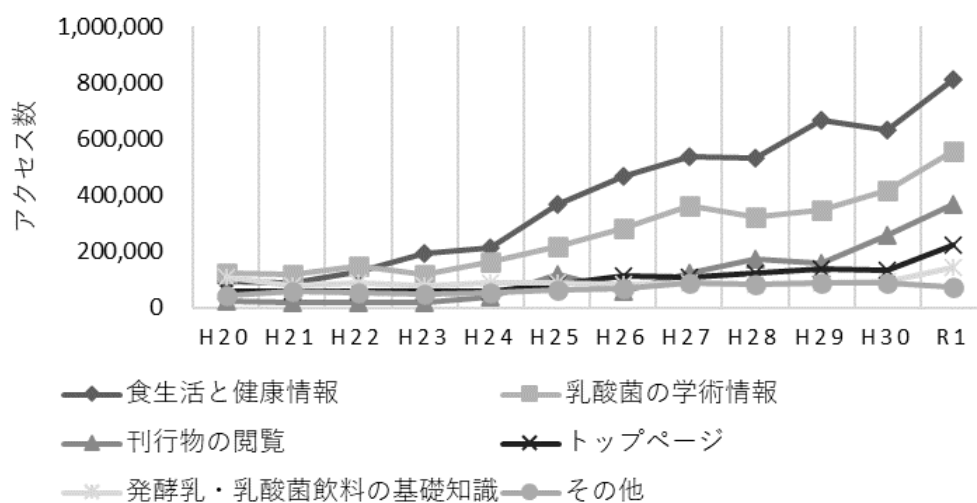
アクセス数：2,167,143件

※ 昨年比134%（昨年度 1,619,293件）

令和元年度ホームページアクセス数（割合）



ホームページアクセス数の推移



4. 情報・資料の収集及び提供に関する事業

(1) 国際食品規格計画（コーデックス）に関する情報

政府主催の連絡会議、日本国際酪農連盟の委員会等に出席し関係情報を収集した。

新たな動きとしては、2019年11月デュッセルドルフで開催された栄養・特殊用途食品部会において、アルゼンチン提出の「食品、サプリメント等を使用されるプロバイオティクスについての「定義」、「安全性」、「有効性」等を規定するガイドライン」が討議され、本年11月開催の同部会で新規活動項目として採択するかどうかを決定することとなった。

(2) 海外情報

トルコ・イスタンブールで開催された国際酪農連盟（IDF）主催の「IDF World Dairy Summit ISTANBUL 2019」に当協会運営委員を派遣し、世界の乳業事情及びトルコにおける発酵乳・乳酸菌飲料市場について情報収集を行った。

（報告書は、乳酸菌ニュース新年号に掲載）

5. その他本会の目的達成に必要な事業

(1) 相談事業

発酵乳・乳酸菌飲料の特性・品質に関するマスコミ、会員等からの問い合わせに対応した。

問い合わせの件数：合計75件

※ 内訳：マスコミ8件、会員23件、消費者11件、その他33件

(2) 環境問題啓発活動への参加

紙製容器包装リサイクル推進協議会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会等の3R関係団体が実施する展示会への人材派遣等、食品容器包装の環境問題の啓発活動に参加した。

(3) 訪問販売の規制への対応

訪問販売に対する消費者の要請に適切に対応するため、経済産業省及び関係団体と連携を強化するとともに関連情報の収集等を行った。

(4) 新会員の勧誘

非会員に対して、生産技術・衛生講習会及び微生物検査研修会への参加を呼びかけるとともに協会への加入を勧めた。

令和元年度においては、正会員として、球磨酪農農業協同組合、(株)べっかい乳業興社が新たに加入し、東洋醗酵乳(株)が退会した。これにより、令和元年度末会員数は、117社(正会員61社、賛助会員56社)となった。

	H31.3	R2.3	増減
正会員	60社	61社	1社増
賛助会員	56社	56社	増減なし
合計	116社	117社	1社増

以上

(注) 事業報告に係わる附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。